【1】2010 関西大学 2/6,学部個別日程(３教科型) 社会安全　社会　商　政策創造　文

[A]　次の表は世界の国々の人口に関する指標をみたものである。この表に関する下の問1・問2に答えなさい。

	人口密度 (2008年) 人/㎢	第1次産業人口率 (2007年)*%	年平均人口増加率 (2000〜2005年) %	高齢化率 (2005年) %	合計特殊出生率 (2006年)
日　本	339	4.2	0.1	19.7	1.3
a	112	3.4	0.6	16.3	1.9
b	251	1.4	0.5	16.1	1.8
c	486	7.4	0.5	9.4	1.2
d	3	3.4	1.2	13.1	1.8
e	231	2.3	0.1	18.8	1.4
f	32	1.4	1.0	12.3	2.1
g	23	19.3	1.4	6.2	2.3

問1　表中の統計指標に関する下記の文(ｱ)～(ｴ)で**誤っている**ものを一つ選び，その記号をマークしなさい。

(ｱ)　高齢化率は，一般に西ヨーロッパ・北ヨーロッパ諸国や日本で高い。

(ｲ)　合計特殊出生率とは，１人の女性が生涯で何人子どもを産むかを示す数値である。

(ｳ)　第１次産業人口率は，今日の先進国では停滞か増加の傾向にある。

(ｴ)　先進国のなかでも，アメリカ合衆国やオーストラリアのように，移民の受け入れが多い国では，年平均人口増加率は高い傾向にある。

問2　表中のa～gは，それぞれ下記の語群(ｱ)～(ｷ)のいずれかの国に該当している。このうちa，c，f，gに該当する国名を下記の語群から選び，その記号をマークしなさい。

(ｱ)　韓　国　(ｲ)　イギリス　(ｳ)　フランス　(ｴ)　ドイツ　(ｵ)　アメリカ合衆国

(ｶ)　ブラジル　(ｷ)　オーストラリア

[B]　次の表は都道府県別に各種の人口指標(2005年)について，上位5都道府県をみたものである。この表に関して，下の問1・問2に答えなさい。

	①	②	③	④	⑤
第1位	青　森	東　京	島　根	東　京	富　山
第2位	岩　手	大　阪	秋　田	b	岐　阜
第3位	a	b	a	沖　縄	e
第4位	宮　崎	埼　玉	山　形	c	滋　賀
第5位	鹿児島	c	d	滋　賀	c

資料はいずれも2005年の『国勢調査』による。

問１　表中の①～⑤は，それぞれ下記の語群(ｱ)～(ｵ)のいずれかの指標に該当している。このうち②と⑤に該当する指標を下記の語群から選び，その記号をマークしなさい。

(ｱ)　第１次産業人口率　(ｲ)　第２次産業人口率　(ｳ)　2000～2005年人口増加率　(ｴ)　人口密度

(ｵ)　高齢化率

問２　表中のa〜eは，それぞれ下記の語群(ｱ)〜(ｵ)のいずれかの県に該当している。このうちa，c，eに該当する県名を下記の語群から選び，その記号をマークしなさい。

(ｱ)　神奈川　　(ｲ)　静　岡　　(ｳ)　愛　知　　(ｴ)　山　口　　(ｵ)　高　知

【1】2010 関西大学 2/6,学部個別日程(３教科型) 社会安全　社会　商　政策創造　文

[A]　問１　(ｳ)　問２　a　(ｳ)　c　(ｱ)　f　(ｵ)　g　(ｶ)

[B]　問１　②　(ｴ)　⑤　(ｲ)　問２　a　(ｵ)　c　(ｳ)　e　(ｲ)

【2】2009 関西大学 2/3,学部個別日程(３教科型) 外国語　経済　社会　法

(A)

各国名の英語表記の頭文字を用いてBRICsと呼ばれるブラジル，ロシア，インド，中国の４カ国は，近年の経済発展が著しいことや今後の世界の動向に大きな影響を及ぼすものと予想されることなどから，注目される存在である。BRICs4カ国の総人口は推定約30億人で，その世界に占める人口シェアは①〔(ｱ)　20　(ｲ)　30　(ｳ)　40　(ｴ)　50〕%台に達する。また，４カ国のなかで最小の国土面積の②〔(ｱ)　ブラジル　(ｲ)　ロシア　(ｳ)　インド　(ｴ)　中　国〕でも世界第７位の国土を保有しているなど，BRICsの国土総面積の世界シェアは30%弱に達する。まさに大きな４カ国である。

(B)

また，BRICsは世界の③〔(ｱ)　原　油　(ｲ)　石　炭　(ｳ)　鉄　鉱　(ｴ)　銅　鉱〕の産出量上位５カ国のうち４カ国を占めるなど，いずれも地下資源大国である。そのうち中国をみると，④〔(ｱ)　原　油　(ｲ)　石　炭　(ｳ)　鉄　鉱　(ｴ)　銅　鉱〕の産出量は世界第１位である。

(C)

BRICsでは農業生産も活発である。(a)〔[ｱ]　小　麦　[ｲ]　米　[ｳ]　茶　[ｴ]　大豆〕などの生産量では，中国とインドが世界の第１位および第２位となっている。また，ブラジルの(b)〔[ｱ]　オレンジ類　[ｲ]　コーヒー豆　[ｳ]　さとうきび　[ｴ]　綿　花〕の生産量は世界最大であり，大麦，ライ麦などの生産量はロシアが世界最大である。

(D)

経済発展につれて,BRICsでは原油の消費量が拡大し,BRICsの原油の総消費量は世界の20%近くに達している。そのため，原油輸出国⑤〔(ｱ)　ブラジル　(ｲ)　ロシア　(ｳ)　インド　(ｴ)　中　国〕を除く３カ国の原油輸入量は急速な増加をみてきている。また，BRICsの発電量も多く，世界の約25%を占めている。発電方式についてみると，水力発電の割合が80%以上である⑥〔(ｱ)　ブラジル　(ｲ)　ロシア　(ｳ)　インド　(ｴ)　中　国〕を除く３カ国では，いずれも火力発電に大きく依存しているところに特徴がある。

(E)

BRICsはさまざまな国内問題をもっている。そのなかには，例えば⑦〔(ｱ)　黒海沿岸　(ｲ)　バルト海沿岸　(ｳ)　ウラル山脈山麓(ろく)　(ｴ)　カフカス山脈山麓〕に位置するチェチェンのロシアからの独立をめぐる対立・紛争，インドや中国国内での民族的・宗教的対立など地域紛争の存在があげられる。そのほか，都市部の経済発展による地域間の所得格差の拡大や農村地域の相対的貧困化が進んできたことも問題である。そのため，インドのムンバイ(ボンベイ)，ブラジルのサンパウロなどの大都市では，農村地域からの大量の人口移動がみられ，都市スラムの拡大などさまざまな都市問題が生じてきている。また，中国では，沿海部に位置する(c)〔[ｱ]　ウーハン(武漢)　[ｲ]　シャンハイ(上海)　[ｳ]　チンタオ(青島)　[ｴ]　ティエンチン(天津)〕などの都市で，農村地域からの人口移動や出稼ぎ移動による著しい人口増加が続いている。

問１　文中の①〜⑦の〔　　〕中の(ｱ)〜(ｴ)の語句のうち最も適当なものを一つ選びなさい。

問２　文中の(a)〜(c)の〔　　〕中の[ｱ]〜[ｴ]の語句のうち最も**不適当なもの**を一つ選びなさい。

【2】2009 関西大学 2/3,学部個別日程(３教科型) 外国語　経済　社会　法

問１　①　(ｳ)　②　(ｳ)　③　(ｳ)　④　(ｲ)　⑤　(ｲ)　⑥　(ｱ)　⑦　(ｴ)

問２　(a)　[ｴ]　(b)　[ｴ]　(c)　[ｱ]

【3】2010 慶應義塾大学 2/18, A・B方式 商

18世紀末，イギリスの経済学者 (83)¦(84) は，著書『人口論』を発表した。その中で，「人口は (85)¦(86) 的に増加するが，食糧生産は (87)¦(88) 的にしか増加しないため，過剰人口による食料不足が発生する」と警告を発した。実際には，食糧生産の増加は，人口増加①を上回り，この予測通りにはならなかった。しかしながら，世界の人口が減少した訳ではない。第１回世界人口会議が開かれた1954年では，世界の人口は約 (89)¦(90) 億人であったが，2007年には約 (91)¦(92) 億人になっており，このような急増は (93)¦(94) と呼ばれている。人口増加には，(95)¦(96) と自然増加の２つのタイプが存在し，前者は人口の移出入②によるものである。

発展途上国と先進国は異なる人口問題を抱えている。発展途上国では一般に出生率が高い③。しかし，発展途上国の中でも，衛生状態の改善や医療の普及などに伴い，死亡率が下がった地域では，人口増加による食料不足問題が生じており，人口抑制政策を導入しているところもある。例えば，ある国④では，1952年に家族計画運動の推進，1976年に結婚年齢の引き上げ，半強制的不妊手術などによる規制の強化が行われた。アフリカの多くの国でも，人口増加に対して食糧増産が追い付いていない。アフリカはもともと自然環境が厳しい上，(97)¦(98) 時代からの負の遺産である換金作物を栽培する (99)¦(100) が多い。そのため，自国内消費向けの食糧生産が不十分である。一方，先進国では高齢化が進んでいる。高齢社会は，全人口に占める65歳以上の老年人口の割合が[　ア　]%以上の社会であり，また，老年人口の割合が[　イ　]%以上の社会を高齢化社会という。高齢化と出生率の低下が発生すると，少子高齢化の社会が生まれる。少子化を示す指標として合計特殊出生率が使われるが，この値が[　ウ　]を下回ると将来人口は減り始める。

発展途上国と先進国は，異なる環境・エネルギー問題も抱えている。発展途上国の環境問題としては，砂漠化，熱帯林の伐採などが挙げられる。砂漠化の１つは，アフリカ西部の (101)¦(102) から東部の (103)¦(104) にかけて細長くのびるサヘルで発生している。砂漠化の人為的な原因の１つは，過剰な灌漑によって土壌の (105)¦(106) 化により作物が育たなくなり，耕地が放棄されるためである。熱帯林の破壊は，アマゾン川流域や東南アジアなどで見られる。東南アジアの熱帯林が破壊される原因の１つは，用材としての需要によるもので，合板材として利用される (107)¦(108) は，日本が世界最大の輸入国である。日本の熱帯材の主要な輸入相手国は，1970年ごろまでは[　エ　]であったが，1970年代は[　オ　]となり，1980年代以降は[　カ　]と変わってきた。また，インドネシアやタイの海岸部では，日本向けエビの養殖池のために (109)¦(110) が伐採されている。先進国の環境問題としては，(111)¦(112) やフロンガスによるオゾン層の破壊などが挙げられる。(111)¦(112) は，硫黄酸化物，窒素酸化物などが大気中の水蒸気と反応することで発生する。ドイツ南部の (113)¦(114) で，トウヒやモミが枯死する被害が報告されている。

地球温暖化は全世界にとっての大きな問題である。環境保全のために様々な取り組みがなされている。市民からの募金などを元に，土地を買い取り，その土地を管理・保全することで乱開発から守ろうという動き⑤も出てきた。

問１　文中の空欄 (83)¦(84) ～ (113)¦(114) にあてはまる最も適当な語句を下の語群から選び，その番号を解答用紙A(マークシート)の解答欄 (83) ～ (114) にそれぞれマークしなさい。なお，同じ語句を２回以上使っても構いません。

11　17　12　27　13　37　14　47　15　57　16　67　17　77　18　87

19　アネクネーメ　20　アルコール性　21　アンゴラ　22　浮稲　23　エクネーメ　24　エルニーニョ

25　塩性　26　エンベロープ　27　オスマン帝国　28　温性　29　夏緑雨　30　カルスト　31　キール

32　季節雨　33　グーグルローブ　34　クラスノウラリスク　35　クリーク　36　コーシー数列
37　コーンベルト　38　コナーベーション　39　酸性雨　40　シーコワンシャン　41　ジェントリフィ
42　湿性　43　社会増加　44　シュヴァルツヴァルト　45　植民地　46　シングブーム　47　人口爆発
48　スーダン　49　スプロール　50　セネガル　51　タートン　52　等差数列　53　等比数列　54　ナミビア
55　灰霧雨　56　バルク　57　ビュート　58　フィボナッチ数列　59　フナフティ　60　プランテーション
61　ボツワナ　62　マニオク　63　マルサス　64　マングローブ　65　ミズブナ　66　ミッドランド
67　ラグーン　68　ラワン　69　ロストック

問 2　文中の空欄[　ア　]〜[　ウ　]に最も適当な数字を，[　エ　]〜[　カ　]に最も適当な国名を解答用紙 B の所定の解答欄に記入しなさい。なお，[　ア　]と[　イ　]には整数を，[　ウ　]には，四捨五入した小数第 1 位までの数を記入しなさい。

問 3　下線部①について，以下の(a)，(b)の設問に答えなさい。

(a)　ある国のある年の人口が 2000 人で，翌年に 2500 人になったとする。この場合の人口増加率を百分率で求め，解答用紙 B の所定の解答欄に記入しなさい。

(b)　ある国のある年の年初の人口が 2000 人，その年の出生数 20 人，死亡数 40 人であるとする。この場合の，自然増加率を千分率で求め，解答用紙 B の所定の解答欄に記入しなさい。

問 4　下線部②に関連して，以下の(a)，(b)の設問に答えなさい。

(a)　一家全員が村を離れ，転出することを漢字 4 文字で何と呼ぶか。解答用紙 B の所定の空欄にあてはまる適切な漢字を記入しなさい。

(b)　イギリスの植民地時代にインドからインド洋周辺諸国や東南アジアなどに移住したインド人のことを何と呼ぶか。解答用紙 B の所定の空欄に，漢字 2 文字で記入しなさい。

問 5　文中の下線部③について，発展途上国で一般に出生率が高い理由には，子供が貴重な労働力であるため，乳幼児死亡率が高いため，に加え，もう１つ，経済的な理由がある。その理由を，解答用紙 B の所定の解答欄に１５字以内で記入しなさい。

問 6　文中の下線部④について，ある国とはどこの国か。解答用紙 B の所定の解答欄に記入しなさい。

問 7　文中の下線部⑤は，何という運動か。解答用紙 B の所定の解答欄に記入しなさい。

【3】2010 慶應義塾大学 2/18，A・B方式 商

問 1　(83)(84)　63　(85)(86)　53　(87)(88)　52　(89)(90)　12　(91)(92)　16　(93)(94)　47　(95)(96)　43　(97)(98)　45　(99)(100)　60　(101)(102)　50　(103)(104)　48　(105)(106)　25　(107)(108)　68　(109)(110)　64　(111)(112)　39　(113)(114)　44　問 2　ア　14　イ　7　ウ　2.1　エ　フィリピン　オ　インドネシア　カ　マレーシア　問 3　(a)　25%　(b)　−10‰　問 4　(a)　挙家離村　(b)　印僑
問 5　老後は子供に養ってもらうため。　問 6　インド　問 7　ナショナルトラスト(運動)

【4】2009 明治大学 2/10，一般 経営

第二次世界大戦後の日本では，(a)農地改革，労働改革，財閥解体などによって経済の民主化と経済復興が進んだ。その後，特に高度経済成長期においては，(b)地域構造に大きな変化が生じた。第二次世界大戦後における日本の地域構造の変化が生じた背景の一つに，1950 年に施行された［　あ　］法にもとづいて，1962 年以降，5 回にわたる国土開発政策が実施されてきたことがあげられる。

時代とともに産業構成，人口構成が大きく変化したことに伴って，(c)食料自給率の低下をはじめ，(d)今日につながる様々な問題が生じた。1998 年に決定された 5 番目の国土政策である「21 世紀の国土のグランドデザイン」では，これまでの計画の抜本的な見直しが図られた。具体的には国土軸と地域連携軸の形成による多軸型国土の形成，急

成長するアジア地域との交流，農山漁村や地方中小都市における自然環境保全と活性化などが提起されている。

問１　下線部(a)に関連した次の設問に答えよ。下線部(a)の説明として最も不適切なものを①～④から一つ選び，解答欄にマークせよ。

①　農村の民主化，農業経営の合理化を目的として改革が進められた。②　農業基本法に基づいて実施された。

③　GHQ の指令により，政府が地主の土地を買い上げた。④　地主制が廃止され，自作農家が増加した。

問２　下線部(b)に関連した次の表を見て設問に答えよ。

(1)　表中のA～Fは，青森県，東京都，埼玉県，愛知県，島根県，沖縄県を示したものである。青森県，愛知県，沖縄県はそれぞれA～Fのいずれに該当するか，最も適切なものを次の①～⑥から選び，解答欄にマークせよ。

青森県：①　A　②　B　③　C　④　D　⑤　E　⑥　F

愛知県：①　A　②　B　③　C　④　D　⑤　E　⑥　F

沖縄県：①　A　②　B　③　C　④　D　⑤　E　⑥　F

表　都道府県別の特徴

	年齢別人口割合(%)(2007年)			人口増加率(%)		就業者数における産業別人口構成(%)(2005年)		
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	自然増加率	社会増加率	第一次	第二次	第三次
A	13.0	58.9	28.2	−0.37	−0.38	10.1	25.2	64.1
B	13.2	62.9	23.9	−0.33	−0.77	14.0	21.4	63.7
C	11.7	68.6	19.7	0.07	0.72	0.4	18.7	77.4
D	14.7	66.7	18.6	0.25	0.46	2.8	34.4	61.3
E	13.8	68.0	18.3	0.16	0.11	2.2	26.8	68.4
F	18.1	65.0	16.9	0.54	−0.19	5.9	16.3	76.3

出所：『日本国勢図会 2008/09 年版』

注）人口増加率は 2006 年 10 月～07 年 9 月の 1 年間

(2)　下線部(d)と関連させて，上の表からどのような社会問題を読み取ることができるか説明しなさい(句読点を入れて 30 字以内)。

問３　［あ］に入る最も適切な語句を解答欄に記述せよ。

問４　下線部(c)に関する次の表をみて，設問に答えよ。

表　各国別農業経済活動人口と農地面積および食料自給率

	農業経済活動人口率[%] (2003年)	国土面積に占める農地の割合[%] (2005年)	第一次産業従事者1人あたり農地面積[ha]	食料自給率[%] い	食料自給率[%] 野菜類	食料自給率[%] う	食料自給率[%] 牛乳・乳製品
G	1.9	43.1	145.6	132	96	108	96
H	2.9	53.6	37.9	173	87	106	125
I	3.4	12.4	2.1	28	79	54	68
J	1.7	69.6	33.8	99	42	66	92
イタリア	4.6	48.8	12.7	73	122	78	71
ドイツ	2.2	47.7	19.3	101	44	96	117

出所：『世界国勢図会 2007/08 年版』，『日本国勢図会 2008/09 年版』

(1)　表中のG～Jにはそれぞれ日本，アメリカ合衆国，フランス，イギリスのいずれかが該当する。日本とフランスに該当するものをG～Jからそれぞれ一つ選び，解答欄にマークせよ。

日　本：　①　G　②　H　③　I　④　J

フランス：　①　G　②　H　③　I　④　J

(2)　各国の食料自給率を示した表において空欄になっている［い］と［う］に該当する食料を次の①～⑤から一つ選び解答欄にマークせよ。

い：①　豆　類　　②　穀　類　　③　果実類　　④　卵　類　　⑤　肉　類

う：①　豆　類　　②　穀　類　　③　果実類　　④　卵　類　　⑤　肉　類

【4】2009 明治大学 2/10,一般 経営

問1　②　問2　(1)　青森県　②　愛知県　④　沖縄県　⑥

(2)　地方では人口が減少し過疎化に，少子高齢化も急速に進んでいる。　問3　国土総合開発

問4　(1)　日本　③　フランス　②　(2)　い　②　う　⑤

【5】2009 明治大学 2/11,一般 政治経済

〔1〕グローバル化の進展とともに，出稼ぎや移住を中心とした国際的な労働力移動が活発化している。表1は，世界の主要な外国人労働力の受け入れ国(地域)の中から，6 カ国を選び，それぞれの国内の外国人労働者人口，および労働力人口全体に占めるその割合を示したものである。

表1　主要国(地域)の外国人労働者(2000 年)

国・地域	外国人労働力人口[千人]	労働力人口全体に占める割合　[%]
①	612	27.9
②	3,546	8.9
③	800	8.3
④	217	6.4
⑤	1,578	6.0
⑥	222	5.1

問1　表の①～⑥に当てはまる国・地域を，次の選択肢の中からそれぞれ1つずつ選んでマークせよ。

A．マレーシア　B．シンガポール　C．香　港　D．フランス　E．ドイツ　F．スウェーデン

問2　表中で外国人労働者の絶対数が最も多い②では，ある特定の国出身の労働者が約 100 万人に及んでいる。その国とはどこか。解答欄に国名を記せ。

〔2〕近年，わが国においても海外からの労働者の流入を背景に，外国人登録者数が増加を続けている。表2は，過去20 年間の外国人登録者数の推移を国籍別に示したものである。

問3　表の①～⑤に当てはまる国名(国籍)を，次の選択肢の中からそれぞれ1つずつ選んでマークせよ。

A．タ　イ　　B．フィリピン　　C．中　国　　D．イラン

E．韓国・朝鮮　　F．ペルー　　G．ブラジル

表2　国籍別外国人登録者数の推移：各年末現在　[千人]

	昭和62年(1987)	平成4年(1992)	平成9年(1997)	平成14年(2002)	平成19年(2007)
総　数	884	1,282	1,483	1,852	2,153
①	95	195	252	424	607
②	674	688	645	625	593
③	2	148	233	268	317
④	25	62	93	169	203
⑤	1	31	40	52	60
米　国	31	42	44	48	52
その他	56	115	175	265	321

資料)　法務省「外国人登録者統計」各年

【5】2009 明治大学 2/11,一般 政治経済

〔1〕問1　①　B　②　E　③　A　④　C　⑤　D　⑥　F　問2　トルコ

〔2〕問3　①　C　②　E　③　G　④　B　⑤　F

【6】2009 立命館大学 2/3,A方式 映像　経営　経済

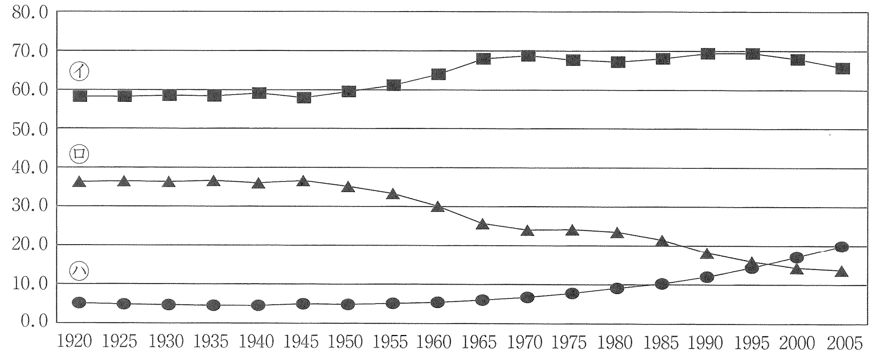
日本の人口の実態は，1920年以降，ほぼ5年ごとに実施されてきた[A]調査によって明らかにされる。最新の平成17(2005)年の[A]調査によると，(a)日本の総人口は1億2776.8万人である。この調査は，日本に居住するすべての人を対象とする国の最も基本的な調査で，(b)調査事項には人口の基本的属性および経済的属性に関する事項が含まれている。また，調査結果は，全国はもちろん，都道府県別，(c)市区町村別などの空間単位で集計され，公表されている。

これまでの[A]調査などのデータを用いて，日本の年齢別人口の時・空間的変化を，グラフや地図を用いて明らかにしてみよう。

①　人口構成の経年変化

図1は，1920～2005年までの15歳未満の[B]人口，15歳以上64歳未満の[C]人口，65歳以上の[D]人口(高齢〔者〕人口とも呼ばれる)の3つの年齢区分の割合の経年変化を示したグラフである。

図1

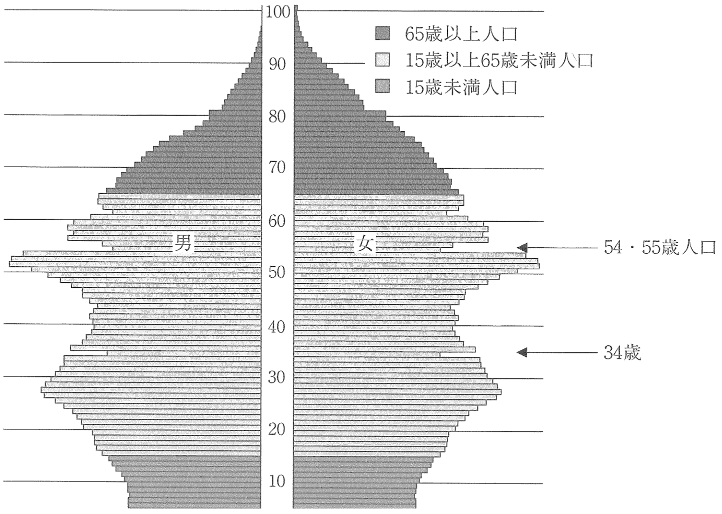


出典：統計局ホームページ資料より作成

② 年齢別人口構成図

図2は，2000年時点の日本の年齢別人口構成図で，一般には人口［ E ］と呼ばれる。人口［ E ］とは，中央に縦軸を引き，底辺を0歳にし，頂点を最高年齢者として年齢を刻み，左右に男女別に年齢別の人口または割合をグラフで表したものである。

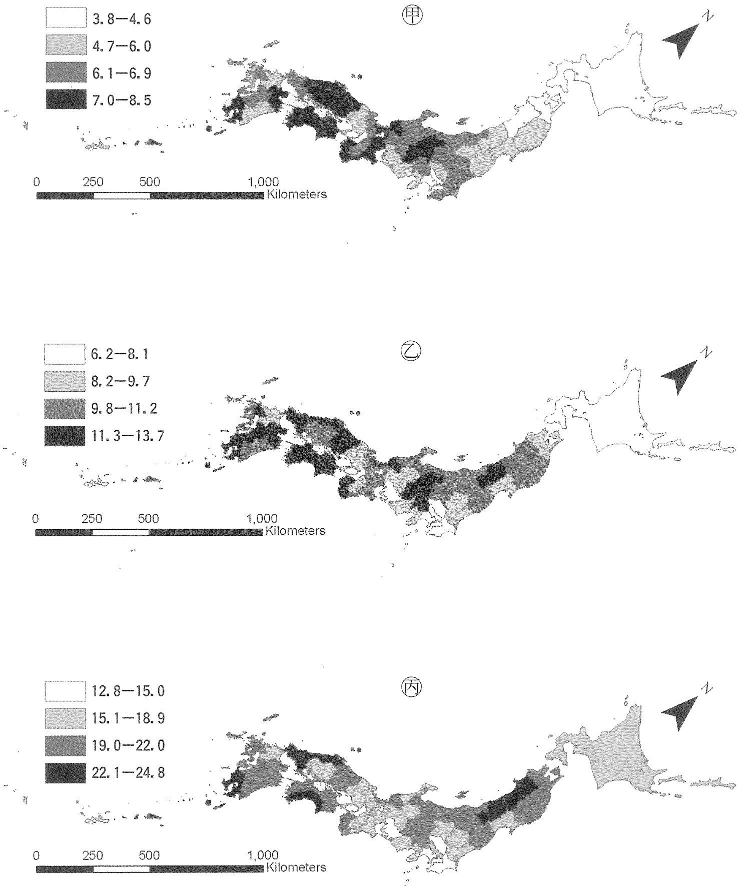
図2



③ 都道府県別［ D ］人口比率の地図

図3は，1960年，1980年，2000年の3カ年次の［ D ］人口比率の地図である。㊙〜㊛の地図は［ F ］図と呼ばれる主題図である。

図3



出典：『2008 人口の動向 日本と世界―人口統計資料集―』資料より作成

〔1〕 文中の［ A ］〜［ F ］に当てはまる最も適切な語句を答えよ。

〔2〕 現在，［ A ］調査を実施している省はどこか，その省名を答えよ。

〔3〕 下線部(a)に関して，日本の総人口は世界の総人口のおよそ何%か，最も適切なものを次の選択肢の中から1つ選び，符号で答えよ。

(あ) 1% (い) 2% (う) 3%
(え) 4% (お) 5%

〔4〕 下線部(b)に関して，この調査項目に含まれないものを次の選択肢の中から1つ選び，符号で答えよ。

(あ) 職業 (い) 通勤地 (う) 通学地
(え) 婚姻関係 (お) 所得

〔5〕 下線部(c)に関して，平成12(2000)年調査時の市区町村数は約3,380であった。平成17(2005)年調査時のその数はおよそいくらか，最も適切なものを次の選択肢の中から1つ選び，符号で答えよ。

(あ) 1,880 (い) 2,380 (う) 2,880
(え) 3,380 (お) 3,880

〔6〕 図1のうち65歳以上人口の割合を示しているものはどれか，最も適切なものを図中の㋑〜㋩の中から1つ選び，符号で答えよ。

〔7〕 図1をみると，1955年〜1965年に大きな変化がみられる。それはなぜか，その理由を簡潔に述べよ。また，1955年〜1973年頃の日本の経済状況は一般に何と呼ばれるか，最も適切な語句を答えよ。

〔8〕　図２の年齢別人口構成図は何と呼ばれるタイプか，最も適切なものを次の選択肢の中から１つ選び，符号で答えよ。

（あ）富士山型　（い）釣鐘型　（う）つぼ型　（え）星型　（お）ひょうたん型

〔9〕　図２の年齢別人口構成図からわかる傾向はどれか，最も適切なものを次の選択肢の中から１つ選び，符号で答えよ。

（あ）多産多死で人口停滞型　（い）多産多死で人口減少型

（う）少産少死で人口停滞型　（え）少産多死で人口減少型　（お）多産少死で人口漸増型

〔10〕　図２の年齢別人口構成図で，34 歳の人口がとくに少なくなっているのはなぜか，その理由を簡潔に述べよ。

〔11〕　図２の年齢別人口構成図で，54・55 歳の人口が少ないのはなぜか，その理由を簡潔に述べよ。

〔12〕　図３の３つの地図㊎〜㊋は，1960 年，1980 年，2000 年の３カ年次のいずれかのものである。1980 年の地図はどれか，最も適切なものを１つ選び符号で答えよ。

〔13〕　図３の３つの地図をよくみると，その比率が，３カ年次とも最も高いランクに含まれている都道府県が３つある。それらの都道府県名を答えよ。

【6】2009 立命館大学 2/3, A方式 映像　経営　経済

〔1〕　A　国勢　B　年少　C　生産年齢　D　老年　E　ピラミッド　F　階級区分

〔2〕　総務省　〔3〕（い）　〔4〕（う）　〔5〕（あ）　〔6〕㋩

〔7〕理由…第一次ベビーブーム世代が生産年齢人口に移行したため，生産年齢人口が増加し，年少人口が減少した。　語句…高度経済成長

〔8〕（う）　〔9〕（う）

〔10〕　1966 年は丙午の年で，丙午の年に生まれた女性は夫を殺すという迷信があったため，出産を避けたから。

〔11〕　第二次世界大戦終戦前後で出生が減っているため。

〔12〕㋥　〔13〕　島根県，高知県，鳥取県